

本校生徒が女子硬式野球全国大会に出場！

本校の太田つかささんと堀綾佳さんが愛知高校連合メンバーとして第14回全国高校女子硬式野球選抜大会に出場しました。このことで中日新聞から取材を受け、掲載されました。

中日新聞 豊田版 2013年3月26日版

女子部員 初の公式戦

28日から全国女子硬式野球選抜



全国大会に向けて意欲を燃やす太田さん(左)と堀さん(右)＝豊田市の松平高で

豊田市の松平高校野球部の太田つかささん(二年)と堀綾佳さん(一年)が「愛知高校連合」のメンバーとして、第十四回全国高校女子硬式野球選抜大会に出場する。普段は男子部員に交じって練習する二人は「レギュラーで試合に出たい」と張り切っている。(古根村進然)

豊田・松平高の太田、堀さん

太田さんは二歳上の兄の影響で、小学校低学年で野球を始めた。中学は女子ソフトボール部で四番を務めた。高校に入り、迷いもあったが、顧問や親交のあった部員に誘われて野球部に飛び込んだ。「アウトを取ったり、ヒットを打ったりするときに楽しい」と熱中する。

走り込み、守備練習と男子と同じメニューをこなす太田さんの姿にひかれたのが、マネジャーだった堀さん。「体力面で劣るのに、すごいなあ」。中学時代は女子ソフトボール部員。昨夏、選手に転向し「男子に一步でも近づきたい」とひた向きに汗を流す。

全国大会は、至学館高校(名古屋市)女子硬式野球同好会のメンバーが足りず、二人は

普段は男子と練習 愛知連合に参加

呼び掛けに応じて愛知連合に参加することになった。二月から合同で練習し、大学生チームと練習試合もこなしてきた。

愛知連合コーチの深沢美和さんは「男子部員とやってきただけあって打撃力、守備のうまさが違う。主力になる」と大鼓判を押す。

全国大会は二十八日に兵庫県で開幕し、十一チームが競う。これまでスタンド観戦だった公式戦に、初めて出場できる機会が訪れ、太田さんは「緊張すると思うが、一試合でも多く勝ちたい」。堀さんも「一本でも多くヒットを打って、チームが勝てるよう頑張る」と意気込んでいる。

松平高校の菅谷雅行監督は「自分たちが中心となって試合をするのは初めて。同じ土俵で持てる力を存分に発揮してほしい」とエールを送る。

(中日新聞の許諾を受けて掲載しております)

松平高 公式野球部女子部員

全国大会出場 夢広がる

豊田市鶴ヶ瀬町の松平高校(阿知和聖三校長)硬式野球部の女子部員2人が愛知県連合チームとして全国大会に出場した。3月27日から31日までスポーツピアいちじま(兵庫県丹波市)で行われ、全国的女子野球の強豪校11校が参加、熱戦を繰り広げた。2人は「野球を楽しむことができた」と笑顔で語る。

【瓜生佐由紀】

出場したのは、3年太田公式戦に出場してとても田つかささん(17)と志賀さん(16)の2人。毎日の厳しい練習が物語るように日焼けした肌がとてもまぶしい。

現在野球部員は全16人と少ないが、その中で髪と長い2人の存在は目立っている。古くから部員数が少ないことで知られる同校の野球部だが、普段は男子部員と同じ練習メニューをこなしている。男子はとにかく打球が強いし、速いし、体力的についていくのが大変」と口をそろえる。それでも、楽しそうに話している。

太田さんの普段のポジションはセカンドだが、連合チームではショート、堀さんは普段ショートだが、連合チームではピッチャーとして出場した。試合の結果は惜しくも2回戦で敗れてしまったものの、堀さんは「初めて

愛知県の松平高校(阿知和聖三校長)硬式野球部の女子部員2人が愛知県連合チームとして全国大会に出場した。3月27日から31日までスポーツピアいちじま(兵庫県丹波市)で行われ、全国的女子野球の強豪校11校が参加、熱戦を繰り広げた。2人は「野球を楽しむことができた」と笑顔で語る。

出場したのは、3年太田公式戦に出場してとても田つかささん(17)と志賀さん(16)の2人。毎日の厳しい練習が物語るように日焼けした肌がとてもまぶしい。

「魅力は力を合わせ一喜一憂できる」
志賀の太田さん、東山の堀さん



愛知県連合チームとして全国大会に出場した太田さん(左)と堀さん(右)は鶴ヶ瀬町で

いた。「高校にソフトボール部がなく、マネージャーになったが、見ているだけではつまらなくなり、やりたくなった」と太田さんに続いた。とにかく2人とも「野球が好き」。「野球を通して仲間と団結したり、みんな一つ一つのプレーに喜んだり悲しんだりするの楽しいし、自分が活